



特定非営利活動法人 地域ひといき

資本主義からの脱却
幸福主義の幕開け

来るべき、次の世は

全世界のすべてが
公正から公平から平等の世の中になる。
全世界のすべてが
自由に自然体であるがままにいられる。
全世界のすべてが
平和であり、次世代に希望を残せる。

● 分け隔てない愛

私も家族もあなたもあなたたちも
すべてに対して、同じ愛を遇する。

● 利己から利他へ

愛が深まるにつれ、利己から利他へ
自分よりもすべての幸せを望むようになっていく。

● 悠久に続く希望と創造の未来

すべての幸せを望む利他の力は甚大なもの。

次の世代の幸福を創るために我々は存在する。

- それらを阻害しているのは、。

資本

●なぜ、人は利己的になる？

正直な人が答えてくれた。

「子ども、大人、高齢者、多くの人がゆとりがないからだよ。」

深く、頷く。そのとおり。

人は誰しもが、

本当ならば真心に従って、分け隔てなく愛したい。

本当ならば真の心に従って、自由にのびのびと生きていきたい。

本当ならば真実に従って、子どもたちに豊かな未来を創造したい。

- それを阻害しているのは、。

資本
(お金)

● とはいえ、

資本にも良い影響があった。今までの社会システムを支え、発展させ、人々を潤してきたのも資本（主義）があったからこそでもある。

一方で、人の愚かさ、醜さ、傲慢さ、ありとあらゆる人の内面を掘り起こすものでもあった。そのどちらも次の世に進むために必要不可欠なことだったのであろう。

世界の富が1%に集約されている。ヒエラルキー構造の底辺層に居るすべての犠牲のもとで成り立つ社会は終焉が近い。

● そもそも、資本とは？

- ・ 1万円札 = ただの紙切れ

日本銀行はしようと思えば、いくらでも発行可能。

そこに付加価値を付けているのは日本国への信頼

その信頼は何で作られるか？ 財政状況、経済状況

● 資本価値の拠り所をシフト

資本 = 信頼（信用）から資本 = 幸福へとシフトする。

なぜなら、人の心は幸福であればあるほど、利他に向かう。

世のため、人のために向かう心が多ければ多いほどに日本の世の中は物心両面で潤っていくからである。

◎ 資本主義から幸福主義へ

ステップ

- ①ベーシックインカムにより、全ての人の生活保障
仕事価値の変革（仕事革命）
- ②固定資産（家屋等を皮切りに）を希望者には全て国有化
物の共有化と保障（所有革命）
- ③幸福縁による、価値創造（幸福革命）
- ④幸福主義の確立
- ⑤幸福主義の発展

①ー 1 ベーシックインカム

- ・有効期限付きで毎月10万/人（住居費用を除く）が無条件に付与される。⇒生活保障
- ・生活が保障されることで、仕事が自由になる。すべての人が自らのやりたい仕事へ就ける。⇒仕事の自由化
- ・仕事がやりたいからやるに変わり、創造者が見返り（資本）を求めなくなることで受益者が価格を決めることが可能となる。
- ・但し、誰に向けて販売したいかを創造者は自ら決定することも出来る。⇒相互の想いの伝播

①ー2 ベーシックインカム

【メリット】

仕事に縛られなくなる。

自分の本当に求める仕事、正しいと思える仕事に就ける。

いずれ、すべての社会保障も無料と出来る。

すべての煩雑なシステムが一掃される。

(税務、生活福祉手続き、年金手続き、労務管理事務等々)

※既存システムの3割は削減できる。

①ー3 ベーシックインカム

【デメリット】

だれもやりたがらない仕事は失われていく可能性がある。
しかしながら、だからこそ、その仕事をしてくれる人たちへの感謝の念が強く生まれていく。すべての仕事について、その理論が応用出来ていき、仕事への概念がお金を稼ぐことから社会の役に立つことに変革していく。

①ー4 ベーシックインカム

【可能なのか】

有効期限付きにすれば失効する額と発行する額がいずれ釣り合う
政府がその気になればいくらでも資本は発行可能。

そもそも、いずれは資本システムに寄らないシステムになる。

経済はお金を中心とした経済から想いを中心とした経済になる。

②ー1物（まずは住）の共有化

【住環境の自由化】

希望する全ての者の住宅について、国が一括して国民全体の共有財産とする。

- ・ローンの完済化、家賃の無料化、各種税金の無料化

【住環境の保障】

住んでいる限り、公共の福祉を損なわない限り退去を求めることは出来ない。

②ー 2物の共有化

【住環境の自由化】

設計士、工事会社は

こんな家を建てたい。〇〇さんに家を建てたい。こんな想いで家を建てられる。⇒資材もタダ、従業員への給与も必要ない。

- ・必要に応じて、家を建てる。そこに住む。

(金銭授受、不動産登記やまどろっこしい説明も一切ない。)

- ・仕事もやりたいことをやりたい場所での世で地方に住む事も可
地方創生、都市集中型からの脱却。全国各地自由に移転可能。

②ー3物の共有化

【デメリット】

必要以上に物を求める人間が表れる可能性

そんな時があっても良いんだけど③で対処。

すべての万物が自らと繋がっている意識、自らが贅沢をすると他の人が出来なくなる。すべてとの相互調和が生まれる。

豪邸に住みたい人もいれば、豪邸からちょっと手狭な家に住んでみようと思う人もいたり、ライフステージに合わせてそれ相応に住めたらいいという人、色んな想いが調和していく。

※既存システムの6割の削減

②ー4物の共有化（コラム）

【住宅仲介業の未来】

こんな家に住みたい。その人の想いを汲み取り、空き家バンクから合致する空き家を探す。紹介をする。そこに金銭授受は発生しない。あるのは、その家族全員の「有難う！！」

【住宅の未来】

設計士、工事会社は当初は「新しく建てて」の声に忙しいことだろう。太陽光や小型水素発電機を備えたZEH住宅を建てる。古い家は発展途上国の発展のために寄与できる形をとる。

③ー 1 幸福縁の価値創造

【幸福縁とは...毎月10万幸福縁／人を付与される。】

- ・ 幸福縁 = 感謝であり、享受した物品等への感謝を示すものである。
- ・ この幸福縁はデジタルで有効期限がある。（例：LINEペイ）
- ・ 配布時には生体認証による、健康チェック機能がある。
- ・ この幸福縁は他人に渡さないと使えない。（自分で溜めこめない）
- ・ 一度、手にした幸福縁は失うことはない。（不正分を除く）
- ・ 何か享受を受けた時に資本の代わりに提供するものと相違する。
- ・ 但し、縁は受益者側が数量をいつでも、自由に決められるもの。
- ・ デジタルであり、匿名での感謝も伝えられる。

③ー 2 幸福縁の価値創造

【幸福縁の活用方法】

- ・ 前提条件として、すべての人が生活保障され、仕事をやりたいたいからやっている状態 = 見返りを求めなくてもいい状態。
- ・ 幸福縁 = 感謝であり、幸福縁は仕事によって、世の中に沢山の感謝を与えている人を表彰するためにある。
- ・ 縁はサービスの提供者が提供先を絞るために提示できる。
(例：この食べ物は◎◎◎縁以上の方のみにお譲りします。)
(例：当社は◎◎◎◎◎縁以上の方に家をお建てします。)

④ 幸福主義の確立

【資本からの脱却】

- ・ サービスや物品の提供について、基本的に無料とする。
- ・ サービスや物品について提供者側は誰に享受したいかを選択する権利を有する。
- ・ 一方で価格（縁）については受益者側が決める。
- ・ やりたい仕事 = 世の中の役に立つとは限らない。感謝 = 幸福縁につながらないこともある。でも、やりたいことを追及できる世の中があり、それが役立つ日が来るかも知れない。

※既存システムの9割削減

⑤ 幸福主義の発展

【全世界の発展のために】

1、日本の底力の発揮と団結

(命の覚悟(武士)、団結性、思いやり、無意識化の調和性)

2、国力の増強

(自給率をあげる。他者のために物心両面の豊かさ強化)

3、貿易により外貨の獲得

(自国民が外国に出る際に使用、資源等の輸入に使用)

4、世界の発展途上に寄与

(国内の成長により、古くなった廃材等の再利用)

◎ 最期に

【教育界の未来は】

このような世を目指すとき、教育の持つ意味はとても大きい。
人はどこから来たのか？なぜ生きるのか？なぜ死ぬのか？
どこに行くのか？どこに向かうのか？
自分とは何か？貴方とは何か？彼らとは何か？三位一体とは？
本来持つ人間の価値を創造し、最低限の学力を身につけたあとは
その子がやりたいことを突き詰めていく教育を私は求めている。
障がいがあるうがなかろうが、LGBTだろうが黒人だろうが、
すべての存在が受け入れられ愛され、認め合える教育は創れる。